

業界最高^{※1}感度1,450mV^{※2}を実現、近赤外光下^{※3}の撮影にも対応
交通監視用カメラ向け1/1型600万画素CCDを開発、発売

シャープは、業界最高感度1,450mVを実現した交通監視用カメラ向け1/1型600万画素のCCD 3機種<RJ3DT3AF0DT/RJ3DT3AD0DT/RJ3DT3AA0DT>を開発、発売します。

ITS(高度道路交通システム)などに用いられる交通監視用カメラは、昼夜を問わず、走行車両の情報やナンバープレートを識別する必要があるため、高解像度で高速撮影が可能なイメージセンサが求められます。

本CCDは、光を電気信号に変換する領域を拡大。道路を幅広く撮影できる600万画素の高精細イメージセンサにおいて、業界最高の可視光感度1,450mVを実現しました。また、可視光より波長の長い近赤外光下での撮影にも対応し、明るいシーンから肉眼ではとらえられない暗闇のシーンまで鮮明に撮影できます。また、600万画素の画像を1秒間に30枚^{※4}出力することで、高精細で滑らかな映像の撮影が可能です。

当社は、監視・車載・医療向けに40万～800万画素のイメージセンサを幅広くラインアップし、“iSHartinaTM”^{※5}(アイ・シャルティナ)の愛称とともに広く展開しています。

品名	1/1型 600万画素CCD
タイプ	プログレッシブタイプ ^{※6}
形式	RJ3DT3AF0DT(4ch出力) RJ3DT3AD0DT(2ch出力) RJ3DT3AA0DT(1ch出力)
サンプル価格(税込み)	60,000円
量産開始	2015年1月30日
月産個数	計 2,000個

■ 主な特長

1. 業界最高の可視光感度1,450mVと近赤外光下での撮影を実現、
明るいシーンから肉眼ではとらえられない暗闇のシーンまで鮮明な撮影が可能
2. 600万画素の画像を1秒間に30枚出力でき、高精細で滑らかな映像を実現

※1 2015年1月27日現在。1/1型600万画素イメージセンサにおいて。シャープ調べ。

※2 照度2,500lux、反射率90%の反射板をF5.6の光学系を用いて蓄積時間1/30秒で撮影した時のG信号の平均出力。

※3 目に見えない赤外線を照射した照度0luxの環境において。

※4 4ch出力に対応したRJ3DT3AF0DTにおいて(RJ3DT3AD0DTは1秒間に15枚出力、RJ3DT3AA0DTは1秒間に8枚出力)。

※5 iSHartinaTMはシャープ株式会社の商標。当社のイメージセンサ関連デバイス(CCD/CMOS/DSP)の愛称です。

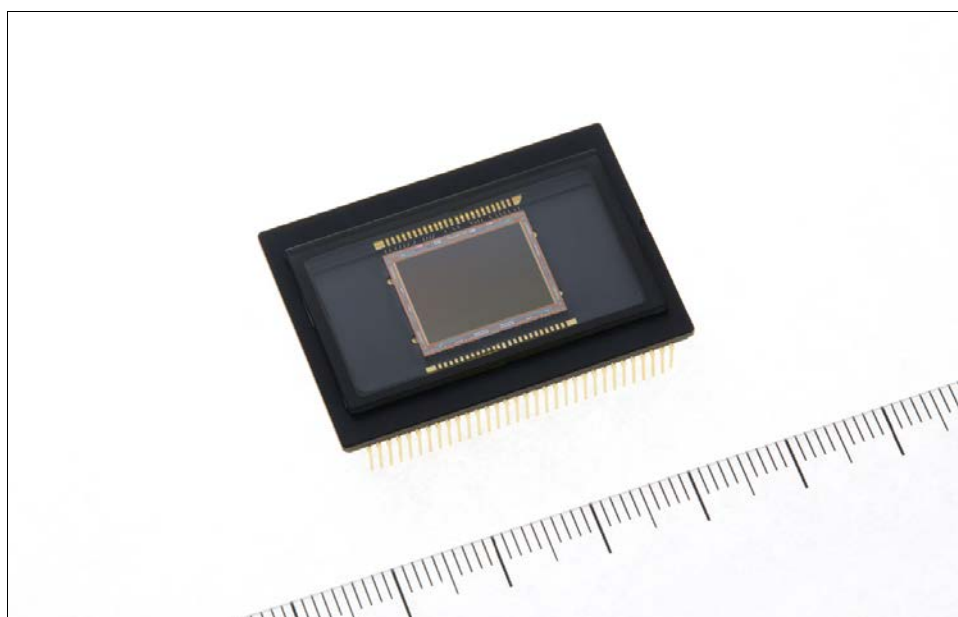
※6 映像をディスプレイに出力する走査方式の一つ。全ての走査線を一度に処理するため、動きの速い被写体を撮影した場合でもブレの発生が抑制されます。

【お問い合わせ先】

お客様：電子デバイス事業本部 センシングデバイス事業部 第二企画部 (084) 940-1225

■ 仕 様

形 名	R J 3 D T 3 A F 0 D T	R J 3 D T 3 A D 0 D T	R J 3 D T 3 A A 0 D T
光 学 サ イ ズ	1/1型		
総 画 素 数	609万画素		
信 号 出 力	4ch出力	2ch出力	1ch出力
動 画 対 応	6M 30fps	6M 15fps	6M 8fps
感 度 (typ.)	可視光感度 1,450mV		
ス ミ ア (typ.)	-125dB		
飽和出力 (min.)	1,000mV		



シャープ 交通監視用カメラ向け 1/1型600万画素CCD
 <R J 3 D T 3 A F 0 D T >